

荒川区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

あらぶんちよ町会見聞録

第30回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!

写真・田尻陽子 取材、文・高橋瑞穂(六歳)



町会では子ども神輿2基、大人神輿1基を所有。二天振りは迫力満点。

6月の「天王祭」に向け

住民たちが一致団結!

地域のつながりが色濃いまち

青年部がリードし、親睦を深める様々なイベントを開催

町屋睦町会 会長 福山 峰成さん



●町屋睦町会

1970年に発足。町屋2丁目12番と町屋3丁目1番から14番までに1,300世帯があり、会員数は482世帯に及ぶ。約20年前に結成された青年部が子ども緑日・花見会などを主催し、町会活動を活性化している。

今年天王祭の本祭!

心ひとつに町内の神輿を担ぐ

温かい心のつながりがあるのがこの町会の良さですね。ご近所同士、顔を見れば挨拶を交わす下町らしい習慣が今も残っています。今年素盞雄神社の天王祭の本祭がありますが、ここで育った人はみんな町会の祭りが大好きで、参加者も多いです。担ぎ手も150名以上集まります。うちの神輿はちよつと変わっていて、全国でも珍しい担ぎ棒2本の二天棒の神輿を左右に振って荒々しく担ぐ「神輿振り」が特徴。二天棒の由来は、昔この地域一帯が畑で狭い畦道を通るために神輿を細くしたとも、荒ぶる神と言われる素盞雄大神を祀っているからとも伝えられています。



50円チケットを販売し、町屋第四児童遊園で行われる「ミニ緑日」。少子高齢化という言葉を忘れてしまうほど盛大な夏の一大イベント。

青年部が主体となり祭りや緑日を盛り上げる

私は小学校一年生の頃に、こちらへ引っ越してきました。今も戸建てが多い地域ですが、当時は木造平屋の家屋が多かったですね。それぞれの家庭が仕事を持っていて、特に家具屋さんがたくさんありました。町会が発足したのは、私が十八歳の頃です。父が七代目の会長を担当していたので、町会活動はずっと横で見えてきました。私自身は、班長や総務などを経験し、6年前に会長に就任。うちの町会では、青年部に40名ほどが在籍し、積極的に町会活動を行っているのが心強いです。特に祭礼の準備は、実に手際がよくて見ている気持ちがいいです。8月に行うミニ緑日も青年部が主体となり、焼きそば、かき氷、射的、金魚すくいなど、さまざまな屋台を出店。例年600名以上の人が出が、近隣の方々も楽しみにしてくれています。



2026年3月1日～7日の「全国春の火災予防運動」。期間中、拍子木を鳴らして町内を巡回し、夜警パトロールを行った。

「ふれあい館」が町内に誕生し一段と暮らしやすいまちへ
運営でいちばん大切にしていることは、町内で事件や事故・災害が発生しないこと。そのため、安全パトロールや通学児童の交通指導などを行うほか、町内に10力所ほど防犯カメラを付けて犯罪の抑止をしています。おかげで、大きな事件や事故がなく、平和で住みやすいまちづくりができています。今後の課題は、現在休止している女性部の再成です。女性ならではのきめ細やかな視点で行ってほしい業務を今は気づいた方が任意でやってくれていますが、役割を決め、みんなが気持ちよく取り組めるようにしていきたいです。町内には、現在、あらゆる世代が交流できるコミュニティ施設「ふれあい館」を建設中。竣工後は、ますます和やかでコミュニケーションの取りやすいまちになっていくと期待しています。



「ご近所菜園」。三河島菜をはじめ、様々な野菜を栽培している。

近所の有志で菜園を運営。 三河島菜を栽培し、 映画にも登場！

誰でもウェルカム。高齢者、子どもたちが入り交じり交流

荒川四丁目西仲睦会 会長 高村 幸秀さん

マンションに越してきた住民も 楽しめる活動をめざす

荒川区で生まれ育ち、今年で82歳。とはいえ、仕事でタイ、メキシコ、アメリカ等に駐在後、国内各地に赴任したため、ここに戻って来たのは55歳の時です。私が本格的に町会に関わったのはその時期からで、町会長になったのは、13年前。妻も町会役員や民生委員をし、夫婦ともに地域とつながってきました。昔は明治通り沿いに商店が並んでいましたが、今はマンションになり、まちも様変わりしました。来年には2棟マンション（約200戸）が建つ予定です。今後の課題は、昔から戸建てに暮らす住民たちとマンションに越してきた若い世代の人々が、共に楽しく町会行事を進めることです。



● 荒川四丁目西仲睦会

明治通りを含む荒川四丁目に位置する町会で、約80年前に発足。対象180世帯のうち、150世帯が町会に加入。近年はマンションが多く建ち、人口も増加。役員同志は月1度の会合とLINEで連携を取っている。



「天王祭」では、町会から子ども神輿と山車が各1基出て盛り上がる。子ども神輿は担ぐのが難しいため、大人がしっかりとサポート。

町会独自のスタイルで 行事の参加者を増やす

今年「天王祭」の本祭がありますが、町内では高齢化が進み、お祭りに参加する子どもたちが減っています。そのため、うちの町会では子ども神輿の担ぎ手は町会会員以外でも大歓迎。神酒所で、焼きそばや豚汁、お菓子などを振る舞います。今年は、つきたてのお餅も食べてもらおうかと思案中。お祭りの開催は寄付もあつて成り立っていますが、商店や戸建ての家の減少に比例して寄付金も減っているのが悩みですね。私が会長になってからは、町会のやる気を盛り上げる目的で年に一度、貸し切りバスで行く新年会も人気です。初詣と新年会を兼ねた日帰り旅行です。特に遠出するのが大変なお年寄りやマンション住民の方に好評で、募集を開始した日に定員に達します。昨年は埼玉真の秩父、今年は茨城県大洗・水戸方面へ行き親睦を深めました。



荒川区の魅力が詰まった映画『あらかわミラクルLOVE!』は2025年5月に公開。荒川区の5つの地区が舞台となっている。

菜園で三河島菜を栽培し、 映画の撮影に協力

荒川区の不燃化促進用地を活用する取り組みの一環でスタートした「ご近所菜園を楽しむ会」が最近地域を盛り上げています。現4町会の会長が協力して立ち上げ、住宅街の一角で野菜栽培を開始。峡田小学校のひまわり学級の生徒たちやご近所の人々が土いじりや収穫などを楽しみ、世代を超えたふれあいの場となっています。映画『あらかわミラクルLOVE!』では、プロデューサーからの依頼を受け、三河島菜の栽培を始めました。三河島菜は、荒川区内8つの小学校の校章にもなっている江戸東京野菜ですが、今はほとんど流通していません。撮影後も栽培を続け、みなさんに身近に感じてもらう予定です。今は場所がないのでできませんが、いつか収穫した野菜をみんなで調理して食べる体験もしたいですね。

TCNからのお知らせ①

TCN 公式 LINE、始めました！

この度、TCNのLINE公式アカウントを開設しました。たくさんの友だち登録をお待ちしています！

友だち登録をしていただく…

サービス・お得なキャンペーンなどの最新情報が届く！

ご利用中のサービスのお困りごとを簡単検索！

LINE友だち限定のプレゼントに応募できる！



▼友だち追加方法▼

①スマートフォン等からLINEアプリで下記二次元コードを読み込む



またはLINEアプリで【東京ケーブルネットワーク (TCN)】[@tokyocablenetwork] と検索

②「友だち追加」ボタンを押して完了！

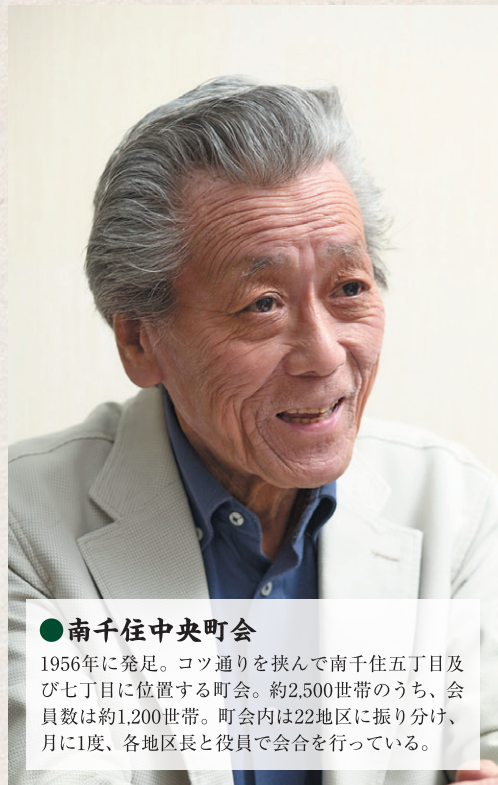


昨年、第三瑞光小学校で「避難所開設・運営訓練」が開催された。

防犯・防火・防災活動に 町会員が積極参加！ 平和で安全なまちへ

地元の方の厚意で提供された町会会館を返還。新たな会館購入へ

南千住中央町会 会長 吉岡 健次さん



●南千住中央町会

1956年に発足。コツ通りを挟んで南千住五丁目及び七丁目に位置する町会。約2,500世帯のうち、会員数は約1,200世帯。町会内は22地区に振り分け、月に1度、各地区長と役員で会合を行っている。

材木屋と鉄工所のまちが 時代とともに住宅街に

このあたりは、材木屋と鉄工所が多い地域でした。昭和の終わりごろから、そうした企業の敷地にマンションやアパートが建ち始め、コツ通り商店街のアーケードもなくなりました。今は住宅街が中心のまちになっています。私はこの地で生まれ、町会で青少年部、総務、厚生部長、副会長を担い、7年前に13代町会長に就任しました。1970年に青少年部が発足した当初は、町会に250名ぐらいの子どもたちがいて賑やかでした。子ども会で高尾山へ行ったり、餅つきをしたり、月に1回はイベントをしていましたが、今は子ども数は減少。残念ながら子ども会も消滅してしまいました。

天王祭では大勢の若者が白熱 夏の盆踊りも楽しい思い出に

今年「天王祭」の本祭があります。お祭りは町会とは別組織で運営し、その組織は町内だけでも2つあります。私は、町会長と兼務して、そのひとつである「志茂睦」の総代もしています。この神輿は大正時代からあり、睦が管理してきました。本祭では2日間かけて御本社神輿を61ヶ町の地区ごとに担いで巡礼し、盛大に執り行われます。若い人たちが参加してくれるので、そのときに町会の役員に声を掛けられています。8月には、第三瑞光小学校のグラウンドを借りて、盆踊り大会も開催されます。「天王太鼓つくも会」が実行部隊となつて準備を、また有志の方々が飲料水や射的などを用意してくれます。3年前から主催が町会となり、警備や交通整理を担っています。この盆踊りもかなり賑わい、夏の風物詩として親しまれています。



8月最終土曜日に開催される「南千住中央町会盆踊り大会」。たこせん、マシュマロ、かき氷、きらきらすくいなどが出店し、大盛況！

ゴミ問題の解決と 町会会館の建設が課題

防犯及び防火活動は定期的に行っています。歳末特別警戒には昨年150名が参加してくれました。交通安全は春と秋に10日間ずつ実施。駅前での下校児童への呼びかけは、城北信用金庫のスナップさんも手伝ってくれました。交通課による講習会も行い、安全なまちづくりに力を入れています。

近ごろの町会の一番の悩みは、ゴミ問題です。不法投棄や民泊利用者によるゴミの間違った出し方については、早急な解決が求められています。そのため、収集所に人が立ったり、英語・中国語・韓国語で分別の案内を書いたりと対策をしています。また、現在の町会会館は34年前から近藤青果さんが建物一棟を提供してくれていたのですが、老朽化に伴い、返還することになりました。今後は場所も含めて新たな町会会館の建設が課題となっています。



22地区を3つに振り分け、30分間を2回ずつパトロールする歳末警戒。帰ってきたら甘酒やお酒で迎え入れ、参加者全員にお土産を渡す。

全国のご当地番組を楽しめる♪「ロコテレ」

全国のご当地番組をアプリで手軽に楽しめる「ロコテレ」。ケーブルテレビ番組満載の動画配信アプリです。テレビやスマホにダウンロードするといつでも、どこでも、誰でもケーブルテレビ番組が見られます。ケーブルテレビ局が作っている番組・動画なので取材に基づいた信頼性があります。また、地域のニュースもロコテレでチェックできます！ご自身の住んでいるまちの情報をいち早くキャッチ♪



詳細はこちら ▶▶▶



TCNからのお知らせ②

あらぶんちよかから版

各区では地域活性化のために活動されている団体がたくさんあります。そんな活動の一部をご紹介します！

荒川ボランティアセンター

荒川区南千住1-13-20
9:00 ~ 17:00 (月~土)
TEL:03-3802-3338 FAX:03-3802-3831



ボランティア
センターHP

誰もが安心して暮らせる街づくりを目指し、いつでも誰でも気軽にボランティア活動できるように「つなぐ」「ひろめる」「まなぶ」「ささえる」を進めています。

つなぐ

ボランティアに関する相談やコーディネートを行います。また活動者どうしのつながりを作ります。



区内の様々な団体や
ボランティアさんが
つながるきっかけに

ひろめる

ボランティア情報誌の発行、SNS等で情報を発信！
福祉の授業で学校への協力も行っています。



まなぶ

ボランティアに関する研修や講座、イベントを
企画・開催しています！

団体や企業に
出向いての講座も
実施いたします！



ささえる

ボランティア保険、助成金支援、印刷機やweb
機器、福祉体験キット等を貸出ししています。



あらかわ地域活動サロン ふらっと.フラット

荒川区荒川3-49-1 生涯学習センター1階
13:00 ~ 19:00 (月~金)第1・3金 ~ 21:00 / 第2・4水 ~ 21:00
※5月より21:00までの曜日が変更となります。
TEL:03-3891-8571 FAX:03-3891-8572



ふらっと.フラット
HP

ボランティアが自由に利用できるオープンスペースです。



ボランティア講師による活動場所として
お使いいただいています。



ボランティアの情報提供や交流のための講座やワークショップを行っています。



様々なボランティア情報や講座をボランティア
情報誌「あらんてあ」や荒川ボランティアセン
ター公式LINEでお知らせしています。

公式LINEはこちらから！▶



荒川区社会福祉協議会
<https://www.arakawa-shakyo.or.jp/>